

福島 の 明日

サポートグループによる挑戦

震災から2年が経ちました。われわれの「福島問題」は一向に収束の見通しを得ず、それにとまなう、心の傷やストレスの問題を真正面から取り上げ、立ち向かう心の復興は、まだまだ遠いところにあります。それどころか、「福島」や「震災」について語ることすらが、重い負荷となり、避けられるようにもなりました。しかし、語らぬ思いは、人との距離を作り、知らぬ間に自分との距離を作り、人、家族、組織、地域社会の力を奪います。

震災2年直後の3月16日に、「福島の明日」と題した、福島の方、福島出身の方が集うサポートグループを実施します。そこでは、個人と組織の再生をしていくグループ治療、集団力学の専門家とともに、自分にとっての「福島」を見直し、震災、人生、福島について安全に腹藏なく語り合う場を作ります。「福島」という共通項の良さを使いながら、それぞれに抱えている心の荷物を下ろし、吐きだし、福島の明日に向けて本気で取り組む人のネットワークを作っていきます。また、参加者の方の希望に応じて、震災復興心理・教育センターの臨床オーガナイザーであり、世界の組織危機に対応する『国際集団精神療法集団過程学会』災害/トラウマ特別対策本部代表 (IAGP Disaster/Trauma Task Force Representative) である小谷英文先生による組織介入プログラムとのジョイントプログラムも企画しています。語り、気持ちを共にしながら、個人、家族、集団、組織の震災後のあらゆる問題対処の具体的な解決にむけての確実な一歩を進めたい福島のあらゆる組織リーダーの方も、ぜひご参加ください。

- ・「福島」「震災」について語る場が欲しい
- ・ゆっくり自分を語り、触れる時間が欲しい
- ・溜まっている思いを吐き出したい
- ・心の傷の影響性について学びたい、対処したい
- ・震災後に苦しんでいる周囲の人の理解、対処を学びたい
- ・福島の明日、自分の明日について本気の話がしたい
- ・震災後に疲弊している組織への介入をしたい
- ・震災復興にむけて積極的なリーダーシップを担いたい
- ・福島問題に取り組むネットワークが作りたい

など、どんなことでも持ち寄って、福島の明日に突き抜ける力を共にしましょう。

ワークショップ概要

ワークショップリーダー

橋本和典 (PAS心理教育研究所 クリニカルディレクター)
小谷英文 (国際基督教大学 教授)

日時

2013年3月16日 (土) 10:00-17:00

会場

宮城学院女子大学 学生ホール

定員

20名

申し込み方法

rinsho-center@mgu.ac.jp までメールでご連絡下さい。
なお、ワークショップへの参加はいずれも無料です。